



地震時の鉄道運休時間の推定方法

高浜 勉¹⁾、翠川三郎²⁾

- 1) 正会員 株式会社構造計画研究所 博士(工学) (前 東京工業大学大学院生)
e-mail : takahama@kke.co.jp
- 2) 正会員 東京工業大学大学院総合理工学研究科人間環境システム専攻、教授 工博
e-mail : smidorik@enveng.titech.ac.jp

要 約

本論文では、地震発生時の鉄道の運休時間を安全確認点検のための時間と、被害の復旧に要する時間の二つの要因に大別し、それぞれに起因する運休時間の簡便な推定方法を過去の被害データ等に基づいて検討した。この推定方法を1987年千葉県東方沖地震に適用し、その運休時間を概ね説明できることを確認した。さらに首都圏を対象として、東京湾北部地震を想定した場合、都心部の主要路線で2週間以上、被害の大きな路線では1ヶ月以上運休する可能性があることを示した。

キーワード： 地震、鉄道、運休時間、地震被害想定、想定地震